

萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第36号

令和5年9月15日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

「夏休み作品展」特集

さて、8月30日から9月1日まで、校内で夏休みの作品展を開催しました。保護者の参観も案内しましたところ、見に来ていただきありがとうございました。児童同士もお互いの力作を見合うようにしました。場所を図工室で行いました。子供たちの個性あふれるがんばりが伝わってくる作品展となりました。

学年に応じた内容、成長に伴う製作活動の広がりを感じました。子供たちが、このように充実した夏休みが過ごせたのも、ご家族のみなさんのおかげです。ありがとうございました。

【工作の部】

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



【絵画の部】



【習字の部】



校長室の窓から ～あいさつの力～

あいさつには、人と人との心を通わせる不思議な力があります。

学校でも子供たちに「学校の中でも学校の外でも気持ちのいいあいさつをしよう」と呼びかけています。

いろいろなあいさつがありますが、遠い昔から、みんな一緒に集団で生きる。みんな共に生きて、生かされている。そんな社会の意識を受け継いでいるあいさつがあると思います。それは、きっとだれもが使っている、

「いってきます」「いってらっしゃい」「おかえり」「ただいま」等の何気ない日常のあいさつ。

☆「いってきます」は、行きますが、必ず戻りますと送り出す人に伝える。 ～約束の言葉～

☆「いってらっしゃい」は、はやく帰ってきて。 ～祈りの言葉～

☆「おかえり」は、はやく帰ってきてという祈りがかなった。 ～安堵の言葉～

☆「ただいま」は、帰りを長く待っていてくれた相手に対して、たった今帰りましたよ。 ～思いやりの言葉～

この他にも「おはよう」「おやすみ」「こんにちは」「ありがとう」等々、いろいろなあいさつがありますが、相手と一緒にいることを何よりも大切に、対話できることを喜びとした言葉。人を支えた言葉。人に声援をおくり、温もりを与えることがある言葉。あいさつには、された人も、した本人も、どちらも気持ちよくなる力、笑顔になる力がありますね。

いつも変わらず温もりがある、あいさつが交わせる家族、仲間、学校、地域でありたいと願います。

校内相撲大会について

期日予定 10月13日（金）

時間予定 1～3校時

会場 萱瀬小学校土俵 雨天時は体育館で土俵マットを使用して実施

その他 4年ぶりの開催です。久しぶりに相撲を行う児童、初めての児童等いることと思います。また、児童にまわしやさらし等を付ける作業や土俵周りの仕事等、保護者の方のご協力が欠かせません。後ほど担当の方から協力依頼をすることと思います。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。

職場体験について（中学生ありがとう）

9月6～8日の3日間、萱瀬中学校の生徒3名が、職場体験学習で本校に来ました。3名とも本校の卒業生です。

授業中に担任のお手伝いをしたり、一緒に給食を食べたり、昼休みに一緒に遊んだりして、子供たちとふれ合ってくれました。小学生の子供たちも大喜びでした。中学生ありがとう。

